

「妊産婦に関する調査」について

福島県と福島県立医科大学では、平成23年度より毎年、質問紙による「妊産婦に関する調査」を行っています。



回答頂いた方の中で、
ケアが必要な方を
サポートします。

妊産婦の皆さまの
からだ
こころの健康状態を
把握します。

今後の福島県内の
産科・周産期
医療の充実に
活かします。

平成25年度の調査対象の方

- ①平成24年8月1日から平成25年7月31日までに福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



これまでの調査結果から

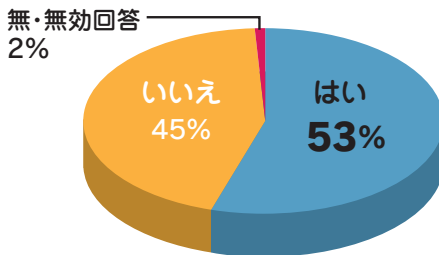
回答して下さった方の半数以上が、
これからも妊娠・出産を希望しています。

平成23年度調査 ⇒ 対象者数:16,001人 ご回答者数:9,316人 (58.2%)

平成24年度調査 ⇒ 対象者数:14,516人 ご回答者数:7,181人 (49.5%)



「次回の妊娠・出産をお考えですか？」



妊娠を希望する方が求めるサービス(TOP3)

1 育児や小児医療に関する情報やサービス

2 保育所・延長保育・病児保育などの拡充

3 放射線と健康リスクに関する情報

厚生省 第14回出生動向基本調査での、お子様を予定している割合51%と同程度です。(結婚10年未満の夫婦で既に子供がいる場合)



早産・低出生体重児・先天奇形の頻度は、平成23年度・平成24年度調査とも政府統計 ないし一般的に言われているデータと概ね変わりはありませんでした。



これまでの支援状況

この調査では、ご回答いただいた方のうち、
記載内容から支援が必要と判断された方をサポートするため
専任の助産師等による電話支援を行っています。

平成23年度調査	電話支援対象者数	1,401人	回答者数の15.0%
----------	----------	--------	------------

平成24年度調査	電話支援対象者数	1,104人	回答者数の15.4%
----------	----------	--------	------------

調査対象者の方



調査票の送付

ご回答

お電話・メールでご相談(必要に応じ)

福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター



最近の電話支援では、
以下のようなご相談がありました。

生まれた赤ちゃんの甲状腺
検査はしなくてもいいの？

水道水がまだ心配
で、ミネラルウォー
ターを使っています。

離乳食はいつから
始めたらいいの？

予防接種はどのような
スケジュールですか？

体重が全然元
に戻りません。

母乳が出ているのか
心配です。

母乳に放射能がふくま
れていないか心配。検査は
できないのかしら。

上の子のやきもちに困り、
毎日イライラしてしまう。



これからも、福島県・福島県立医科大学では、皆様のところとからだの健康を見守ります。
引き続き、調査にご協力をお願いいたします。

次回調査(平成26年度調査)のご案内

時期: 平成26年秋頃

対象: ①平成25年8月1日から平成26年7月31日までに福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

調査についてのお問い合わせ先

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
<http://fukushima-mimamori.jp/>

TEL.024-549-5130

(土日祝日を除く9:00~17:00 おかけ間違いのないようご注意ください)

具体的な調査の結果につきましては、以下のホームページでご覧ください。

<http://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/>

福島 妊産婦調査

検索